

## 子育てをもっと楽しく！ママのための日本語サロン 活動報告⑥ 「子どもの病気・事故 ～大切な命を守るために～」

日時：平成 27 年 11 月 30 日（月）10:00～12:00

場所：刈谷市中央子育て支援センター

外部講師：平岩氏、神谷氏（刈谷市消防署救急係）

星野静子氏（刈谷市健康課）

日本語講師：岡部真理子氏

参加者数：【学習者】8名（中国4名、インドネシア1名、フィリピン2名、タイ1名）

【日本語パートナー】5名

【通訳】2名（英語、タガログ語）

託児スタッフ：2名（ママハウス）



### <活動内容>

#### 1. 自己紹介

- 自己紹介シートを互いに見せながら、グループで自己紹介

#### 2. 救急救命、家の中での自己予防について

- 平岩氏・神谷氏より、①救急法（心肺蘇生の手順）、②AEDの使い方、③誤飲したときの対処法について、大人と子どもの人形を用いたデモンストレーションをしながらお話いただき、その後、参加者が実際に一人ずつ人形での心肺蘇生を体験
- 星野氏より、家の中の危険についてのお話。家の中のイラストを用いて参加者がグループで危険な箇所を話し合ったり、子どもの視野になれるメガネを着用して、子どもが日頃どのような視界で生活しているのかを体験

#### 3. ふりかえりシート、覚えたい言葉シート、ポートフォリオ

- 日本語パートナーとともに本日の活動をふりかえり、それぞれのシート（資料1～3参照）に記入する
- 学習者が本日の活動を通して「わかったこと」、「疑問点・難しかったこと」を発表

##### 【わかったこと】

救急法・AEDの使い方・心臓マッサージ・家の中で危険なところ

##### 【疑問点、難しかったこと】

心臓の手術をしたことがある人は、心臓マッサージができるか？  
痙攣時の対処法が難しかった。

<参加者の感想、疑問、わかったこと>

【学習者】

- ・呼吸を見て確認することがわかった
- ・心臓マッサージの仕方がわかった
- ・家の中の安全点検ができた（扉での手挟み事故を防ぐ→牛乳パックを使って手を挟まない工夫を）
- ・いろいろ学びました
- ・子どもは視野が狭い、何でも口に入れる
- ・困ったときは119番、救急車

【日本語パートナー】

- ・AEDの実技、子供の視野の体験が出来て良かった。
- ・救急法が知れて良かった。少しでも学習者の役に立つことができたような気がした。実際に心臓マッサージやAEDの使い方を見て自分自身もやれたことが良かった。危険な箇所も絵を見て説明ができたのでよかった。
- ・子どもに何かあった時、もしもの時に必要なことが学べた。
- ・ゆっくり話す、難しい言葉を調べた。
- ・外国の方と触れ合うことはなかなかないので、とても新鮮だった。自分も英語を勉強したくなった。

